

## タウンミーティング あったかいまち「ふじみ野」を目指して

日 時 平成26年12月13日（土）午前10時～11時30分

会 場 滝自治会（滝自治会館）

天 気 晴れ

参加者 28人



### 主な意見等

参加者 今、福岡高校の跡地はどのような状況となっていますか。運動場などは全く使っていないのですか。

市 長 今は県立高校なので県が管理し、グラウンド等は統合した大井高校の部活動の一部で使用しています。また、ふじみ野市民に限ってはいませんが学校開放で使用しています。県には市で使いたいと話していますが、市で買い上げて欲しいと言われていました。しかし、高額なこともあり校舎の管理などについて民間ならどのように活用できるのか国の補助金を活用して調査を行い、年度内に方針を出したいと思っています。手に入れるのであれば安価に購入したいと考えています。体育施設が不足しているため、グラウンドや体育館はすぐにでも手に入れて活用したいと思えますし、校舎にはエレベーターもあるので高齢者の方にも上の階層でも使用できる施設であり保育園等にも活用が図れないか検討しています。

参加者 健康増進のトライアングルと説明がありましたが、具体的なものがあればお聞きしたい。市でスポーツジムのようなものを整備していただけないですか。体育施設を利用したことはありますが、例えば最低

でもシャワーのある施設をお願いしたいと思います。

市長 施設を作るのには課題が沢山あります。公民館とか公共の物を維持していく上での受益者負担について考えた場合、元々皆さんの税金で施設を管理していますが、少しでも皆の力で維持していくことを考えた時に公的なスポーツジムを作るとなると、そこに費用が発生してしまいます。ただし、健康のための施設を作り、そこを利用いただいて健康になり医療費や介護費用などを浮かせることにより、税金を他に活用できるとも考えられますので、考え方として、元気健康の好循環の方法としてスポーツジムも一つの方策であると考えられます。今、ハード整備は考えていませんが、健康増進の取り組みを進めたいと考えています。介護予防に向け、いきいきクラブを活性化して、高齢の方に参加いただける、例えば、グラウンドゴルフをやろうなどと目的を持って会に参加してもらうことやウォーキングにより健康増進につながることを行い、企業戦士で定年した退職後に地元に戻った時に家にこもることの無いように健康に過ごしていただきたいと考えています。また、スポーツクラブを紹介するなど健康増進の取り組みも進めながら、スポーツジムは、すぐにできるものではありませんが参考にしていきたいと考えています。

参加者 市役所の改良工事について、ハード面ではよくなると思いますが、ソフト面でのサービス向上策は何かありますか。

市長 来年から福祉関係を含めた市民の総合相談窓口を作ります。福祉といっても介護に関することや障害に関することなど、色々な課題があります。市役所に相談ごとに見えられた方のたらい回しを無くしたいと考え、市民の総合相談窓口を設置します。そこに行って市民相談した時には、総合的横断的に対応してサービスを高めたいと考えています。

参加者 意見ですが、確かに市役所は今までと変わったなと感じられるようにしてもらえないでしょうか。例えば、挨拶、元気があって今までの対応と違うなど味を出してほしいと思います。

市長 現在、朝交代で職員が挨拶をしていますが、その時間だけではなく

常に意識を持つようにと話をしています。また、職員には、「来庁される方はお客様」と言っています。窓口で市民が訪れた時に、たまたま後ろの電話に出ているのを誤解され、そっぽを向いていたと言われることがあります。そのような感覚がなかったとしても、誤解を受けるようなことはあってはだめです。私は商店を経営していたので、お客さんに失礼な態度をとるとお客さんは来なくなります。でも市役所は、そこに行かざるを得ません。そうではなくて「あそこに行く気分がよい」と思われるように「いらっしゃいませ」を全職員に徹底してもらいたいという思いで進めています。

参加者 バスの件です。ここから大井中央公民館などへ行こうと思っても、なかなかうまく乗り継げません。コースを分けずに通しで公共施設を回ることは考えられませんか。

市長 バスの件については、旧大井町で走っていました。バスは2台しかありませんが、合併して広い面積を走るようにしたため不便になったと意見はあります。お金を払っても便利にして欲しいと言う人もいます。現在、全体の見直しを考えています。バスの運行には、年間3千万円かかっていますが乗っている方は非常に少ない現状があります。

参加者 バスの本数が少なく使いにくいので乗る人が少ないのではないかと思います。

市長 通常の民間路線バスも不採算になるとコースをやめてしまいます。公共交通は一部の人しか利用しないのに莫大な税金をかけてよいのかと考えたとき、むしろ交通弱者やお年寄り、障がい者等はタクシーチケットなどで対応し、バスをやめるなどの考え方もあります。そこで、面積の狭い市内の中で民間に参入してもらいデマンド交通、乗合タクシーなどにして利便性を向上することができないか、また、バスを小さくして経費を落とすことができないかなどを検討しています。今は、民間参入によるデマンドと小さなマイクロバスの併用や路線の変更、また、乗る人には少し負担していただき利便性を高めていくことなどを検討しています。

参加者 エコパを利用しています。腰が悪いため足がつることがよくありました。ジョギングや自転車では解消せず、医者に行っても直りませんでした。エコパのプールでリハビリをするようにしたところ、ほとんどその症状が無くなってきています。ぜひ、もっと紹介してください。

市長 エコパの利用により、体調が改善されたことは非常に良いことです。市民プールを税金で維持することは大変なため、他市の例でも市民プールはやめている状況にあります。そのような状況の中で健康増進プールなどはいらないと言う人もいますが、健康増進ということは医療の軽減につながります。現在、減免制度がありますが、本当は100円でも200円でも出してもらうのが理想ですが、清掃センターの建設中に太陽の家を廃止せざるを得なかったので減免にしています。これも皆さんにご理解をいただき少しでも利用料をいただければ、その分の税金を違った所で使用できます。エコパも公園や道路も、また、公民館も図書館も全て市民財産のため、地域の助け合いと同じように市民自らが私たちの街は私たちの力で良くしていこうという考えのもと市民協働によりあつたかいまちとしていきたいと考えています。今後は、支える人たちが少ない時代となります。その方たちへの負担を残したくはないと思って検討しています。

参加者 防災の問題についてですが、ふじみ野市は比較的に安全だから、過信をしているのではないかと思います。地震の大きな被害としては、下敷きになり動けなくなることが一番多くあります。以前、市長に話しましたが、手軽に扱えるジャッキがあるとよいと思います。男手がない時でもジャッキがあればタンスに挟まった場合でも対応ができ、火災があっても避難できます。何よりも災害にとって危険なのは安心感・無関心です。通常の時であれば3分程度で救急車も消防車も来られますが、非常時には一度に沢山の依頼となり道路も寸断されるため、あてにできません。ひとつの命を救うことができると考えれば価値を見いだせると思います。

市長 まさにその通りだと思います。以前にも防災関連のタウンミーティングで伺っています。ジャッキでもバール1本でもよいと思います。まず、寝床に靴を置いておくことと垂木1本を置いてほしいと話して

います。奥さん一人でもテコの原理で対応できます。寝ている時に大きな地震が起きると大した怪我がなくても動けなくなることがあります。それを垂木1本置いてあればテコの原理で上げることができます。各町会の色々なエリアに消火器や消火栓があるのと同じでジャッキ置き場があればよいと思います。できる範囲の中で整備できればよいと考えます。

参加者 市民のために色々されている内容はよく伝わってきました。あいさつの件ですが、市役所だけでなく市民お互いも縁あってこの地に住んでいますので、あいさつを交わせないものではないでしょうか。私は犬の散歩をしている時にあいさつをしますが、あいさつをされない方も多くいます。子どもたちへ「行ってらっしゃい」「お帰り」などの声掛けにもつながります。声掛けをすることで、全体的に街がよくなると思います。ふじみ野市を訪れた方が、なんとなくこの市は違うなと思われるような市になることが大切なことだと思います。

市長 まちぐるみのあいさつ運動は良いことだと思います。学校では、あいさつ運動が行き届いているせいか、子どもたちがきちんとあいさつをしています。どこに行っても、あいさつができることはすごいことだと思います。お金をかけずに、このまちがあつたかくなるのは良いことだと思います。

参加者 市では、空き家をどのくらい把握していますか。最終的に市の条例で処分している例はありますか。

市長 件数は担当部署で把握しています。管理不十分な空き家は増えています。市に条例がありますが、代執行できる強い条例ではなく適正な管理を呼び掛けるもので先進的に取り組みを進めてきました。現在、国でも改正をしているため、その内容に合わせて市でも強く進められるよう改正を検討してまいります。空き家が増える一番の原因は、住まなくなった建物を取り壊すと固定資産税が増加してしまうことが原因の一部であると思います。若い頃は草むしりや風入れなど適正に管理できていたところが、今は高齢化も進んで適正管理が難しい状況になっていることなど社会問題化していますので、もう少し検討し踏み

込んでいけるよう考えていきます。

参加者　ひとつ要望をお願いします。私はペタンクというスポーツをしています。年をとってもできるスポーツであり経費も余りかからず、実際80歳、90歳近い方までやっている方がいます。また、井戸端会議で話をする事などの交流も楽しみのひとつです。そこで、ふじみ野市の生涯スポーツのひとつにペタンクを今一度考えていただけないでしょうか。県内の市によっては、市が主催で行事をしているところもあります。一部の人の愛好会とか老人会とかで実施していますが他市に比べて遅れており、ほとんど知られていないので、市で奨励していただければ健康増進につながると思います。

市　長　意外とご存じない方が多くいます。参加しやすいと知ると参加する方も増えると思います。健康増進の具体例としてペタンクを知らない方に伝えていければと考えます。

参加者　市民体育祭にグラウンドゴルフなどにはありますがペタンクは数年前に無くなりました。市民体育祭でやっていただけないでしょうか。現在、体育協会には加盟していません。市の生涯スポーツとして位置付けられれば裾野が広がり大きなものになると思います。

市　長　市民体育祭は体育協会が中心となり実施しています。体育協会に加盟してはどうでしょうか。ペタンクは、誰でも参加しやすいスポーツなので健康増進のスポーツとして知ってもらい元気健康の好循環につながるものと考えられるため考えてみます。

参加者　中丸のゲートボール場の土が浮いてきています。2トン車一杯の川砂を入れてもらえないでしょうか。広げて整備をするのは自分たちで行います。

市　長　担当と調整します。

参加者　権現山古墳について、最近気になることがあります。公園の中の散

歩コースの木が2本伐採されました。その内の1本は、ど根性の檜の木という大変珍しい木でした。なぜ切られてしまったのか今後が心配です。担当部署に確認してください。

市長 危険があり伐採したとも考えられますが、理由は確認します。

参加者 権現山の下の遊歩道を利用しています。今年の大雪で相当数の木が倒れ入り口を閉鎖する対応は早かったのですが、春休みが終わっても再開することはなく、お花見の頃まで通ることができませんでした。実際は、かいくぐって入る方が多数居ました。初期対応は早いと思いましたが、その後の処理期間が長くかかりました。今は、崖の歩道に赤や青のリボンがぶら下がっています。何のためなのか分かりません。大雪がいつ来るか分からないので危ない木が分かるのであれば、倒れてからではなく対応をお願いします。また、事前に何のため危険であるとか下げて周知いただければ安心して利用できます。権現山の遊歩道は今まで雨が降ると1週間位歩くことができませんでした。現在は整備されたため雨が上がれば歩けるようになりました。大雪が心配です。

市長 のり面の木の根の張りが雪で地盤が緩むとか、木が成長していく過程でのり面が危険など考えられます。また、管理区分が県、市や民間地権者など複雑な状況です。確かに印が付いていますが、どこがどう危険が分かるように明確にします。今も最大限取り組んでいると思いますが、お話を参考に担当と話して更に十分な管理をしていきたいと考えています。

参加者 滝の民生委員です。家人が亡くなって空き家となってしまったところがあります。一人暮らしだったため、親族（甥など）を探して話しをしたところ、放棄すると言っていました。家が空き家のままとまっている場合、どうするのでしょうか。

市長 市役所に相談していただければ相続権のある方に確認をして、もし所有権の放棄であれば国庫にするなど話が進むと思います。

参加者 3月までということで65歳以上の方に施設でボランティアをしませんかという取り組みがされています。非常に良いことだと思います。核家族化となり高齢社会となっています。施設に行き帰りにスタンプをもらえるということで100ポイント貯まらなくても、それが楽しみな方も多く居ます。4月以降も続けて欲しいと思います。

市長 継続していこうと考えています。